

体育科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

- (1) 成果
○素早い動きや長い距離を走る力が高い傾向にある。
- (2) 課題
○男女共にボールを投げる力が低い傾向にある。

2 観点ごとの実態

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びを楽しんで行う児童が多い。 まっすぐに走ることができる児童が多い。 固定遊具やボールなどを使う遊びは、個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ボールや固定遊具等を使う遊びは、技能の個人差が大きい。 鬼遊びなど、体全体を使う遊びの技能が高い児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 鬼遊びを楽しんで行う児童が多い。 走る力については個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことへの意欲が高い児童が多い。 ボールを投げること、走る力において個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全についての知識はあるが、実際の生活に生かそうとする児童が少ない。 器械運動や水泳運動が苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 病気の予防についての知識はあるが、生活習慣が乱れている児童がいる。 器械運動やボール運動の個人差が大きい。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの工夫を考えたり、友達に伝えたりすることは、個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の動きを見て、友達の動きを真似しようとしている。 動きを工夫し、楽しい遊び方を友達に伝えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きのよさを見つけようとしていたり、アドバイスし合いながら運動したりすることができる。 自分たちで動きやルールを工夫して運動することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームのルールを工夫したり、ボール操作を工夫したりして取り組むことができる。 練習方法や作戦を選べる児童とそうでない児童の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> チームで取り組む学習において、勝敗を受け入れたり作戦を考えたりすることに個人の課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> チームとしての練習方法や作戦を考えて運動している児童とそうでない児童の差が大きい。 教え合うよさを実感し始めた児童も多い。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> どの運動遊びも意欲的に取り組んでいる。 安全に気を付けて運動を行う意識が低い児童が一部いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲良く体を動かし、すすんで運動に取り組む児童が多い。 苦手な運動もすすんで行う児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲よく体を動かし、すすんで運動に取り組んでいる児童が多い。 苦手な運動もすすんで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動に対する意欲が高い。 勝ち負けにこだわってしまい、協力して運動ができない場面が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことが好きな児童が多いが、苦手な運動に対して消極的な児童が一部いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことが好きな児童が多いが、苦手な運動に対して消極的な児童が一部いる。

3 課題と授業の改善策

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
課題	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 用具を操作する動きを身に付けること。 固定遊具の運動遊びを通して器械運動の学習につながる基本的な動きや技能を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具を操作する動きを身に付けること。 多様な動きをつくる運動遊びを通して、様々な基本的な体の動きを身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> 走力、持久力、投げる力を高めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動を日常化し、体力や技能の向上を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく運動に取り組みながら、各領域の基礎的な技能を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力を向上させ、各領域の基礎的な技能を身に付けること。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と関わりながら運動遊びをすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きを工夫し、自分達で新しい動きや遊びを考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> チームや自分の課題に合った練習方法や場、作戦を選び、動きのポイントなどを意識しながら運動に取り組めるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を意識すること。 ゲームの勝敗だけにこだわらず、自分やチームの課題に合った作戦や練習方法を選ぶこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームの勝敗だけにこだわらず、自分やチームの課題を考えながら活動に取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分やチームの課題を捉え、練習方法や作戦を考え実践すること。

	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 安全に気を付けて運動遊びに取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に運動遊びができるよう、友達とかかわりをもたせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 勝ち負けにこだわり過ぎず、協力して運動に取り組めるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全のきまりに対する意識を高めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の得意、不得意にかかわらず、自分に合っためあてを設定し、すすんで運動できるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> めあてをもち、誰とでも協力して安全に運動すること。
授業の改善策	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 鬼遊びや固定遊具での運動遊びなど、用具操作の時間を多く取り入れる。 全力で走る機会をつくっていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具操作の時間を取る。 多様な動きをつくる運動遊びの活動から、毎時間少しずつ取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の時間以外にも取り組めるような走る運動や、持久力を高める運動(短縄など)を紹介し行うようにする。 授業の中でも持久力、投力を高める運動を取り入れ継続して行うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 休憩時間等でもできる動きを取り入れるなど、授業以外でも取り組める動きを提示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題別に練習の場を設定したり、基本的な技能のポイントを示した資料や動画を活用したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能のポイントを明確にした資料や動画を活用すること。 主運動に合わせた予備的な運動を帯で取り入れる。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 関わる必要性のあるルールをつくる。自分の考えを伝えたり相談したりしたくなるような時間と場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 攻め方や守り方などの例を示し選べるようにする。 友達のよい動きを共有する時間を設定し広めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内でよい動きの共有、アドバイスを伝え合う時間を設ける。 動きのポイントなどを意識して取り組めるように学習カードを工夫する。学んだことを記録し共有する時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や作戦を考えることができるよう、学習カードを活用し、振り返りの時間を設ける。 個人で作戦や練習法を選べない児童の手立てとして、チームで考える時間を多めに設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や作戦を考えることができるよう、学習カードやタブレットを活用したり、振り返りの時間を設けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の課題やチームの作戦について考えられるよう、学習カードやタブレットを活用する。 グループやチームで協働的に学習に取り組めるような工夫をする。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間声を掛けるとともに、安全な場の設定を通して、どういったことが安全につながるのかを理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様で簡単な運動遊びに取り組ませると共に、称賛をするなど肯定的な働きかけをする。 用具の準備や片付け、場の設定を工夫することで、友達と一緒に運動遊びをする楽しさに触れることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 勝ち負けのある運動を多く経験させ、チームとして協力する気持ちを育てる。 様々なゲームの中で、協力して運動する楽しさを味わわせる。 協力していた場面やよい声かけなどを紹介することで友達と学び合う姿を価値付けする。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業だけではなく、日常の休み時間やスポーツタイムなどで外で遊ぶ時間を確保し、運動をする時間を増やす。 安全に取り組んでいる児童を称賛するなどして、安全に対する意識を高められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップを設けることで、自身の成長を実感させ、苦手な分野であってもすすんで運動に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業や外遊びを通して仲間と共に体を動かすことの楽しさを実感させ、運動の日常化につなげる。 スモールステップの段階を示し、自身の成長を実感させる機会を多く設ける。